

2022年度関西女子学生バスケットボール連盟
大会開催にあたっての
「新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）
のためのガイドライン」

2022年5月に国が発出した対処方針の変更にともない、
対処方針を参考にしガイドラインの一部を変更する。

緊急連絡先； 関西女子学生バスケットボール連盟
電話 06-6363-2015
E-mail kwiba.baske@gmail.com
携帯電話 080-4025-3064 学生委員長

新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）の対処方針

新型コロナウイルス感染対策として、「**新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）のためのガイドライン**」を定め、関係者一同で感染予防・感染防止に努めつつ、大会を実施することとしております。

主催者である関西女子学生バスケットボール連盟としては、**学生の安心、安全を最優先**して大会を運営することとします。

2022年度の各種大会を実施するにあたり、大会主催者として、「**新型コロナウイルス感染症 感染対策（感染予防・感染防止）のためのガイドライン**」を定め、万全を期して、大会を開催いたします。

このガイドラインは、大学生の大会らしく、各チームの自覚と責任のもと、国・自治体、所属大学のルールを前提に、感染防止策を示すものです。さまざまな制約条件となりますが、各チームとも協力して大会が無事実行できますよう、趣旨ご理解のうえ、遵守をお願いします。また、各自が新型コロナウイルス感染防止に努め、感染予防を意識し対応することを要請します。

2022年8月13日の判断としましては、大会は**有観客により実施**することとします。保護者の方を含め、体育館に入館できることとして開催いたします。

新型コロナウイルスの感染状況や大会開催時に試合会場での感染が確認され、大会の継続が困難と判断した場合には直ちに対応を変更する場合があります。

また、緊急事態宣言の発出など、感染拡大が懸念される場合には、大会の中止もしくは延期を検討いたします。

1. 参加するチーム、選手、大会関係者（役員・学生委員）が遵守すべき事項

(1)体調管理を徹底すること

- ・毎日自宅で体温測定を行い、記録すること
- ・軽度であっても発熱、咳、鼻水、咽頭痛、倦怠感等の症状がある者、体調不良者は練習や大会に参加しないこと

(2)衛生管理を徹底すること

- ・日常的にマスクを着用すること（練習や会場への移動時は必ず着用すること）
- ・咳エチケット、手洗い、手指消毒、うがいを実施すること

(3)室内環境の管理を徹底すること

- ・3密（密閉・密集・密接）を回避するように徹底すること
- ・室内換気（扉と窓の開放）を徹底すること
- ・対人距離は最低1m以上確保すること
- ・Meetingを開催する場合は、密集、密接を回避する方策をとること
- ・施設使用後の使用備品（机・椅子・扉ノブ等）消毒を徹底すること

(4)試合中に関すること

- ・試合開始直前の審判員との握手を禁止とする
- ・各チームの選手・スタッフは試合時以外はマスクを着用すること
- ・ハーフタイムのコートでのウォーミングアップ（次の試合のチーム）を禁止とする
- ・ハイタッチ、密集した円陣、手をつないでのエールなど、三密を日常的に避けること

(5)その他

- ・飲料の回し飲み、ボトルの共用は禁止とする
- ・体育館付設の冷水機、製氷機は使用しないこと
- ・熱中症対策やアイシング等の氷や飲み物等の準備は各チームの責任で行うこと
- ・更衣室の使用にあたっては、密集を避け交替で使用する（当該施設のルールに従うこと）
- ・施設内のエレベーターは、負傷者の移動及び物品搬入を除き使用しないこと
- ・施設内での食事は、禁止もしくは指定された場所に限定とする（試合前後の栄養補給のための補助食品は可）
- ・ごみは持ち帰ること
- ・試合終了後の帰路に集団での会食を禁止とする。3名以上での会食は控えること（家族は除く）。

2. 大会のための大学施設（体育館）利用にあたって

(1) 利用申し込みにあたって

- ・大学施設（体育館）利用にあたっては、本ガイドラインとともに、公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)「活動再開に向けたガイドライン」を示して、了解を得る。
- ・本ガイドラインとともに、利用する大学のルールを遵守し、感染防止対策を徹底する。

(2) 会場での感染防止策について

- ・体育館入口にて検温（非接触型体温計）を行い、各自の平熱を超えている者、倦怠感など体調不良を自覚している者は入場させない。

37.5℃を目安として、入場させない。ただし、本人の平熱を考慮して判断する。

- ・手指消毒を徹底する。消毒液は主催者（関西女子学連）にて準備する。
- ・チームから、大会参加同意書と健康チェックシートの提出を求める。
- ・大会中の体育館内での除菌を1試合ごとに実施する（机・椅子の表面、ボール等）。
- ・試合時間の間隔を調整し、試合ごとに選手・チーム関係者が入れ替わるようにして可能な限り人と人との接触機会を低減させ、密集・密接を避ける。
- ・試合開始時間と試合間の休憩時間に余裕をもって計画する。
- ・密集を避け、密接しないように、複数コートの試合開始時間をずらして計画する。

3. 罹患者や濃厚接触者が生じた場合

(1) チーム内に罹患者や濃厚接触者が生じた場合

①練習に参加している学生・スタッフが罹患した（陽性となった）場合

- ・罹患した者は原則としてPCR検査で陰性が確認されるまで出場停止（ただし、保健所が追加のPCR検査を実施しないと判断した場合には、保健所の自宅待機指示期間までの出場停止とする）
- ・同チームに所属する者が濃厚接触者とみなされる場合は、試合への参加は保健所の指示や各チーム所属の大学のルールによる。

②練習に参加している学生・スタッフが濃厚接触者とされた場合

- ・濃厚接触者とされた者は各チーム所属の大学のルールにより、活動停止期間は試合の参加や出場を見送る。

③罹患した学生の所属するチームと対戦した場合

- ・濃厚接触者とみなされる場合は保健所の指示に従い、試合への参加は各チーム所属の大学のルールによる。健康観察（体温測定、体調管理）を毎日行う。

④学連委員、審判に関しては、J B Aのガイドラインおよび選手・スタッフの対応に準じて判断する。

*濃厚接触とは、マスクなど飛沫感染防止の策をとらずに15分以上1m程度の距離で対面（同席）した場合を想定する。

*罹患者や濃厚接触者が発生した場合の対応について、所属大学が独自に設定しているルールがある場合には、所属大学設定ルールにしたがって対応する。

(2) 国・自治体、大学のルールとの関係

- ・本ガイドラインと国・自治体、大学のルールとを比較し、厳しい項目を適用する。保健所の指示を最優先し、所属大学の指示に従う。

※試合終了後に感染の疑いが生じた際には、必ず主催者である関西女子学連に連絡すること

4. 徹底する必要がある感染対策について

- ・ウォーミングアップの際は必ずマスクを着用すること。(試合前・ハーフタイムのどちらも)
 - ・クーリングスペース(マスクを外して、呼吸を整えるスペース)を確保します。
クーリングスペースは息を整える場所です。息が整えばマスクを着用し所定のベンチに戻ってください。
 - ・クーリングスペースでは応援禁止とします。
 - ・TO席に手指消毒液を設置し、交代前、交代後には手指消毒を徹底してください。
 - ・会場での試合終了後は、速やかに退館してください。
 - ・握手や掌同士のタッチや大きな声での歓声、応援は禁止します。指導者の大きな声での指示もご遠慮ください。
 - ・試合後は着替える前に手洗い、うがいをしてください。
 - ・帰宅途中での会食は厳禁。どこにも立ち寄らず、マスクを外さず帰宅してください。
- ※感染が生じた際（陽性と判定された場合や濃厚接触者が生じた場合）には、必ず主催者である関西女子学連に連絡すること。

5. 大会参加もしくは個別の試合の参加（出場）の可否判断

個別の試合の参加の可否判断を主催者である関西女子学連として判断することがある。

大学の判断がなされず、個別の試合の参加の可否判断が必要となる場合には、連盟理事長と副理事長が協議し、当該大学の責任者と協議できる場合は、意見を聴取し、個別の試合への参加の可否を判断することがある。

選手個人の出場の可否を判断する場合とチームとしての試合の参加可否を判断する場合がある。

新型コロナウイルスに罹患した選手、スタッフは会場への入場をお断りするが、罹患患者との最終接触によっては、接触者についても参加の可否判断の対象とする。

また、濃厚接触者と特定された場合、試合当日との日数の間隔が確保されているかによっては、濃厚接触者と特定された選手、スタッフについて、出場の可否判断の対象とする。

6. 大会中止の判断

大会開催の判断・中止判断は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策チームが審議し、理事会に意見具申し**理事会で決定**する。

対策チームは、感染予防対策・安全対策体制の構築のために、理事長を長とし、2名の副理事長（総務担当・競技担当）、6名の常任理事（総務正副部長3名、競技正副部長3名）に学生委員を加えたメンバーとする。

大会開催直前並びに開催中に緊急事態宣言などが発出された場合には、大会開催の継続について、審議し判断する。